



K-I-F-A Plaza

第52号

2005年(平成17年)7月5日
 発行: 鎌ヶ谷市国際交流協会
 〒273-0195 鎌ヶ谷市初富928-744
 TEL 047-445-1141 (内550)
 FAX 047-441-9400
 http://www.kifa.gr.jp

「青少年国際交流」ボウリング&パーティ

ストライク&ゲーム 若者たちの歓声ひびく

ボウリング場で国際フレンドリーの輪——在住外国人青少年と日本人青少年が友好を深めるKIFA主催「青少年国際交流ボウリング大会」が6月19日(日)、常盤平ボウリング場で開かれ、ヤング・エイジたちによる友情の歓声がひびいた。

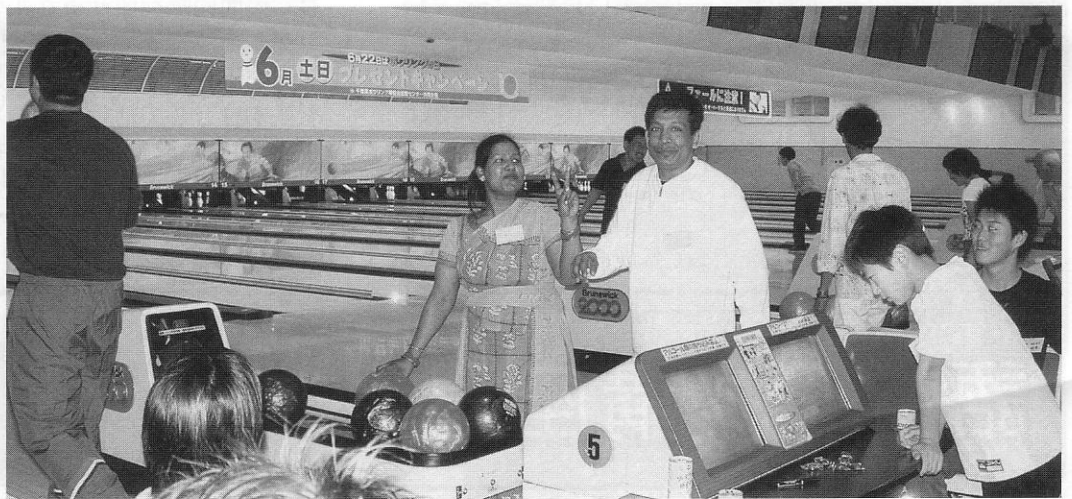
この日、参加者たちは11時までに常盤平ボウリング場に集合。KIFAの交流会には初めて参加したという親子4人の日本人家族、若い夫婦や祖母に連れられた小学生、それに北部公民館青少年グループの高校生リーダー小西克典君とその6人の仲間たち。

中国から千葉大園芸学部に留学中の5人、スリランカ2人、バングラデシュ3人など、アジア近隣の出身者ら合計27人。それぞれ3人ずつの9チームに分かれ、個人総合、チーム別の得点を競った。

ボウリングは初体験という人もいて、最初はレーンにボウルをドスンと落とす、ガーターばかりということもあったが、2ゲーム目になると、フォームはバラバラでも、初ストライクを記録したりスペアで得点を伸ばす中国人留学生。バングラデシュの女性がグリーンの民族衣装をなびかせてレーンへ走る。ストライク3連発なんて初めてとはしゃぐ日本人女性。調子が上がってきた人も、疲れた人もあつという間に2ゲームを終了。

ゲーム終了後、会場をくぬぎ山コミュニティセンターに移し、昼食ミニ・パーティで腹ごしらえ。

パーティには岡本靖子・KIFA会長も駆けつけ、「若い世代を中心に、異文化交流を一層進めたい。まず「遊ぶ・食べる」が親しくなるのに一番だ」とあいさつがあ



ボウリング会場(上)、昼食パーティで力を付け(左)、ゲームでも盛り上がった(右)

り、雰囲気はいっそう高まった。

自己紹介に移り、この交流会に参加した喜びをそれぞれ話し、「次も来たい」「子どものため交流を体験させたい」「今度はもっと友だちを連れてこよう」など、KIFAにとって大変うれしい呼びかけもあった。

この後、ボウリング大会の成績発表があり、グループ総合得点上位グループ表彰、個人賞、ブービー賞にそれぞれ賞品が手渡され、みんなから盛んな拍手を浴びた。

最後に小西リーダーの進行でいくつものゲームを楽しみ、岡本会長をはじめ、交流部の担当者らも加わって大いに盛り上がった梅雨の晴れ間の日だった。

大勢の若者たちの参加を活動目標に掲げるKIFAにとって、若者たちによる企画・運営が何より大切だということを感じさせる交流会であった。

2005年度KIFA総会

ICECKの理事会加入で
新しい共同事業も視野に!

5月15日(日)、10時30分から市総合福祉保健センター6階の大会議室において、2005年度KIFA(鎌ヶ谷市国際交流協会)の総会が開催された。



岡本靖子会長



清水聖士市長

2005年度のKIFA総会は、冒頭の岡本靖子会長による挨拶につづき、来賓の清水聖士市長から「民間団体としてのKIFAの国際交流活動は非常に重要なものがあり、

今後もより一層交流が拡大するよう大いに期待をしている」との祝辞をいただいた。

このあと慣例にしたがい、司会を担当されたKIFAの事務局長でもある海老原正博企画政策課長の指名により田澤進一郎前会長を議長に選出、2004年度の事業報告・収入支出決算並びに特別会計収入支出などの議案を審議し、これを可決。

さらに2005年度事業計画・2005年度収入支出予算並び



に特別会計収入支出予算案を審議し、これを可決した。本年度は役員の変更時期でもなく、また特別の議題もなかったため、提案された議事は滞りなく審議され、定刻どおりに終了した。

なお今回、鎌ヶ谷国際文化交流会(略称ICECK=アイスク)所属の佐藤キクさんが理事に選出されたのが目新しいことである。

アイスクはKIFAを別とすれば、鎌ヶ谷市に拠点をおく民間国際交流サークルの中ではきわめて活動の目立つグループである。国際交流の面では、「①国内外との文化交流、②発展途上国の支援、③アジア留学生の支援」を三本柱として活動している団体である。

そうした観点から①および②の点ではKIFAとも一致できる面もあり、共同で効率よく事業活動を展開していくことを視野に入れて、KIFAの理事会に参加したものといえる。

語学研修講座開講式



各講座の開催日時を変更 ハンゲル講座再登場

2005年度語学研修講座の特徴は、講座を実施する曜日や時間帯を大きくチェンジしたことにある。その理由は、これまで各講座の時間帯や開催曜日、会場などが毎年固定されていたために、受講生のメンバーもまた固定化されてしまう側面があったからだ。

KIFAの語学講座は広く市内の方々に受講していただき、それをきっかけに外国語に対する学習意欲を高めていただくことにある。そして習得した語学を市内外に在住する外国人の手助けに役立てていただく、という大きな目的がある。

2005年度語学研修講座の開講式が、5月15日、KIFA総会の後に行われた。各研修講座の講師の方々の紹介があり、それぞれに自己紹介(右欄参照)や本年度の講座の方針など話された。

韓流ブームを反映したわけでもないが、久しぶりにハンゲルの講座も加えられた。しっかり学習して、「近くて遠い国」から「近くてすぐに行ける国、親しみの持てる国」になったお隣の国との国際親善に一人ひとりが務めてほしいものである。「ヨソさま」詣でだけでなく、市民レベルでの交流を深めることが望まれる。そして、旦那様を「ヨソさま」にしないで、ご一緒されたら如何でしょうか。



英語A : ジェシー・ナイカネン さん

妻と今年の1月にアメリカ・ミネソタ州から来たばかり。今日は妻と一緒に来ています。日本語はほとんど話せません。今は日本語を勉強中です。



英語B : アリシア・ブランド さん

鎌ヶ谷市のALT(Assistant Language Teacher)です。現在は鎌ヶ谷5中・五本松小・初富小で英語を教えています。サッカーが大好きです。大人の方に英語を教えるのは初めてなので、すごく緊張しています。(昨年のKIFAパーティでは日本語のスピーチを披露してくれました)



スペイン語 : パトリシア・岡田 さん

KIFAで教えるのも3年目で、今年も授業を楽しみにしています。生徒さんはいつも熱心で優秀ですから楽しみにしています。今年も一緒に勉強いたしましょう。(ダンスが大好きで、いつも陽気な先生です。昨年のKIFAパーティでは、素敵なダンスと衣装を披露してくれました)



中国語 : 范 晓耘 (ハン・ショウユン) さん

北京市出身です。日本に来て6年になります。松江市で中国語を教えたり、国際文化大使として活動した経験があります。KIFAで教えるのは初めてなので、とても緊張しています。でも、一生懸命がんばりますので、よろしく願います。日本舞踊や読書、インターネットが趣味です。ほかにハイキングや水泳が大好きです。



ハンゲル : 李 賢貞 (イ・ヒョンジュン) さん

近くて遠い国といわれている日本で、韓国語を教えることができ、とても嬉しく思います。15回の講座なので、講座が終了するときに、生徒の皆さんがハンゲルを読めるようになってほしいです。韓国ドラマがきっかけで受講される方が多いのに驚いています。(昨年の韓流ブーム、そして今年には日韓国交正常化40周年という記念の年でもあります。可愛いお子様のお母さんでもあります)

【特集】2005年・KIFAの活動はこのように展開される！

交流部会と研修部会 & 日本語ボランティア

会員間の親睦、外国人との交流の場として「サロン」をつくりたい！

国際交流の推進をめざし、鎌ケ谷市にKIFAが設立されて、今年で17年。さらなる飛躍のためには、現行の組織体制、事業内容をたえず検証していく必要がある。そこで、KIFA活動を支える両輪の交流部会、研修部会、これに加えて日本語ボランティアの2005年度の年間計画、日常活動、ボランティア・スタッフを紹介しつつ、KIFA2005年の問題点もさぐってみる！

交流部会

外国人との交流を深め、相互理解を図る場を提供する交流部会。部会員は、楽しい企画を創意工夫し、実行するため日頃から頑張っている。

交流部会の2005年度の事業は、次の通りである。

1. お花見 & バーベキューパーティ(4月)
2. 青少年国際交流ボウリング(6月)
3. バスツアー(9月)
4. 外国家庭料理講習会(11月)

このうち、1. 2. については、すでに実施済みなので、本紙の1面、8面のレポートを参照してください。一見、例年と変化のない事業のように見えるが、内容に新鮮味を出すために、部会員は苦心しています。

「青少年交流事業は、昨年は養老溪谷へのハイキング(26名参加)でしたが、今年は趣向を変えてボウリングとミニ・パーティを開催しました。ボウリングだと誰でもとっつきやすいですからね。次代を担う外国人と日本人の青少年が、友情と理解を深める機会をつくるのは大切です」(交流部会・鈴木浩部会長。「」内・以下同)

◎若者が関わるイベントの創出

KIFAの将来を考えると、若い会員の層が薄い現状は課題の一つだ。それを盛り返すためには、彼らが積極的に関われる事業を創出することだろう。また、広報活動を念入りにしたうえで、受入れの門戸を気軽に構える用意が必要だ。

「4月3日のお花見&バーベキューパーティには、市内の若者サークルが、在住の外国人と交流したいと、10人ほど参加して盛り上がりました。若者の国際交流への意欲を、KIFAとして大切に育てていきたいですね」

本年度のバスツアー(9月後半)、外国家庭料理講習会(11月)の詳細はまだ未定だが、これもKIFA会員にはなかなか人気の企画である。

たとえば、昨年の箱根へのバスツアー。多くの外国人を含め、88名が参加した。もちろん、単なる観光旅行ではなく、親睦と交流が主たる目的。バス車内では自己紹介ならぬ、他己紹介をおこなった。相手をよく知らないとは他己紹介できないので、その分、お互いの理解が深まるKIFAらしいシステムだ。

通常、一つの事業に交流部会の5人ほどが、担当者として関わる。決定した事業計画に基づいて、実施日の2~3カ月前から事業計画に基づいて動きだす。

「会員はともかく、一般の非会員に事業を知らしめる広



和気あいあいの2004年の外国家庭料理研修会

報活動には苦勞します。具体的には、日本語の文書では通じない、外国人対象の募集の場合などは…。現在、交流部会の事業に関しては、30人くらいのメールリストの登録者がいて、その彼らを核にしてイベント参加を呼びかけています」

◎気軽に相談できる交流サロン

交流部会の事業を地道に下支えし、粘り強く推進する部会員はすべてボランティアである。

鎌ケ谷市には、総数933人が外国人登録しているそうだ(2003年12月31日現在)。これに加えて、就業ビザで在住している外国人も相当数いるだろう。これを念頭に入れ、KIFA交流部会のボランティアとして向かうべき方向性はなんだろうか。

「鎌ケ谷在住の外国人が気楽に集まれるサロンをつくりたい。彼らが日常生活で困った問題に直面したとき、お互いが知恵を出し合ってアドバイスし、相談にのれる場があるといい。そういう場での集まりが月1回でもあれば、また新しい交流の機会が生まれ、KIFAそのものが新しい発展をしていくものと思います」

次代を担う青少年や、在住外国人も交えて、KIFAの「国際交流」のあり方を見直す時期といえよう。

〔交流部会〕

部会長／鈴木浩。副部会長／堀優子。部会員／有田容子、石関博康、荻裕、吉川重清、高坂忠雄、竹内雄二、辰巳澄夫、徳田正子、トトル、富澤一隆、根岸孝子、万代達夫、藤田敏夫、星野幸也、村松知、森瀬眞男、吉川秀子、和田守正。

研修部会

外国語・日本語の語学研修講座開講、講演会・イベントの開催が研修部会の二大事業。言葉や文化を通じ、鎌ケ谷の国際交流の一翼を担う。

◎語学研修講座98名でスタート

KIFAの会員で、これまで、あるいは現在、語学研修講座を受講している人は少なくない。これを契機に海外に目を開き、旅行や仕事に役立てたり、外国人との交流を深めたといった人も数多いと思う。

すでに開講した「2005年度KIFA語学研修講座」の概要は、下の表のとおりである。ここで注目は、ハンゲルが新しく加わったことだ。

「韓流ブームもありますがお隣の身近な言葉を学んでみたいというリクエストが多かった。これから需要の増える言語だけに、受講生も真剣にチャレンジしています」(研修部会・波多野勝夫部会長。「」内・以下同)

英語A・B、スペイン語、中国語は年間講座数が30回だが、新講座のハンゲルは15回でスタートした。研修部会としては、KIFA会員や市民の要望に応じて、魅力ある講座を数多く実施しようと考えている。今年度の語学研修講座には、ハンゲル開講とは別の、新しい試みもなされた。

それは各講座の会場、曜日・時間を大胆に再編成したことである。

「講座のできる会場が限られています。したがって、受講生も初心者優先しました。レベルとしては入門編とし、中級のリピーターにはなるべくご遠慮願いました。各講座の会場や日時の編成替えもスムーズにいったと思います。そのため、これまで時間の都合や地理的な問題で機会に恵まれなかった人々が受講できるようになりました」

講師陣も、英語B、中国語、そしてハンゲルが新任で、いろんな意味で新しい環境の中で、98名の受講生たちは意欲を燃やして語学講座に取り組んでいる。

話は早いですが来年2月の閉講式には、それぞれ語学の研修成果を歌やパフォーマンスで発表できるまでに上達していることは間違いありません。

◎文化講演会講師にバックン

子どもたちに語学(英語)の楽しさを体験させるのも、KIFAの重要な使命だといえる。子ども英会話教室『スマイリー・キッズ』は今年も実施する。

「今年で3年目の企画ですが、年々その回数も応募者も

《2005年度 KIFA語学研修講座》

講座名	会場	曜日・時間	講師	受講生数
英語A	東初富公民館	木曜 13:00~14:30	ジェシー・ナイカネン	28
英語B	中央公民館	土曜 19:30~21:00	アリシア・ブランド	23
スペイン語	くぬぎ山コミュニティセンター	火曜 19:30~21:00	パトリシア・岡田	13
中国語	南部公民館	金曜 10:00~11:30	范 曉耘	14
ハンゲル	まなびいプラザ	水曜 13:00~14:30	李 賢貞	20

増える一方です。小さいころから語学を通じて、国際交流の精神を育ててほしいと思います」

詳しい内容は、後日お知らせするが、2005年度は10月から7回、対象は小学1~2年生、3~5年生の2グループになる予定。ぜひ応募してください！

KIFA研修部は、以上のような語学研修講座と並行して、文化講演事業にも力を入れている。

●KIFA・秋の文化講演会●

NHK『英語でしゃべらナイト』

バックン・マックンのトークショー

9月4日(日)午後・東部学習センター・
レインボーホール

お知らせ風に記したが、2005年KIFAのメイン・イベントに位置づけされる企画である。詳細は鎌ケ谷市の広報紙(8月1日付)に掲載します。

◎ボランティアは楽しんでやるもの

昨年は、6月に『京劇へのいざないII』を催し、中国の古典芸術の一端に触れる機会が持てた。今年は、人気の異色アメリカ人タレントによる“英会話のスズメ”。楽しく、ためになりそうだ。

「鎌ケ谷市民やKIFA会員が世界の知識を得る、また国際感覚を養う機会を積極的に提供していきたい。そのため話題の人物を招いて、タイムリーなテーマで講演してもらおう文化講演会をめざしています」



市内在住、在職の若い人たちも、楽しんでのイベント参加を期待したい。そのうえでKIFAの国際交流への理解を深めてほしい。そして、KIFA会員としてボランティア活動に取り組む意欲を寄せてもらいたい。

「これからのKIFAの活動は、ボランティアが“何かをしてやる”式の一方通行ではなく、鎌ケ谷市民と在住外国人が双方向で“共同して活動する”方式を目指さなければいけないと思います」

その一つの試みとして、来年1月には『会話サロン』(仮称)を開く予定である。ALT(市の嘱託の語学補助教員)を中心に複数の外国人ゲストを招き、分かりやすいテーマを設定し、英会話だけで交流する楽しい場の実現の場をつくるのが期待される。

外国語および日本語の語学研修講座開講と講演会の開催。この二本柱の推進役として活動するKIFA研修部会。さらなる充実に向けて、意欲的なボランティアを求

めている。

「前例にとらわれず、新しい発想で立案し、実行してくれる人を歓迎します。また市内在住の外国人も、ひとりで悩むよりもみんなと共に考え、鎌ヶ谷を住みやすくするため一緒に活動しませんか。我々の気がつかない、外国人の視点でアドバイスしてほしいですね」

このところ夏まつり、KIFAパーティ、青少年派遣など実行委員会システムの事業も増加している。部会制を見直す必要性もあるがそれぞれの部会が果たしている役割も小さくない。とって気負うことはない。「ボラン

ティアは楽しんでやるもの」という波多野研修部会長。この姿勢が、いまKIFAに求められている。

〔研修部会〕

部会長／波多野勝夫。副部会長／篠原正登士、遠藤尚子。語学担当／平田真裕美、英語A／星野幸也、英語B／安達政美、スペイン語／飯田文夫、中国語／林幸治、ハンゲル／定本典子。部会員／植松アネッテ、遠藤勝夫、大森佳子、桶本栄、鈴木貞夫、藤井明恵、藤本克代、松岡昭男、宮崎京子、村田源吉、渡辺千里。

日本語ボランティア

日本語講座の活動は研修部に属し、10数人の日本語ボランティアが情熱を傾けて在住外国人に日本語を教えている。KIFAならではの存在だ。

【場所・中央公民館 日時・毎週火曜日、午後7時30分～9時。会費・1ターム(10回)2,000円。

楽しい仲間とVolunteerが待っています。一緒に勉強しましょう。日本語を学びたい外国人をご存知ありませんか。国籍は問いません。是非ご紹介ください。いつからでも結構です」……

これはKIFAが、現在、広く呼びかけている「日本語講座」の「外国人学習者」募集の案内である。日本人会員には、ややもするとなじみの薄い活動だが、日本語ボランティアは地味ながら熱意を込めて、在住外国人の日本語学習の手助けをしている。

「ここでの私たちは“外国人に日本語を教えてやる”ではなく“外国人と一緒に勉強する”という気持ちでありたいと思います。そしてその日(講座の日)、何か一つでも彼らに得るものがあればいい、と願っています」(日本語ボランティア・遠藤尚子代表)

◎「言葉にできない感動がある」

外国人学習者は目下18名いる。出身国別では、スリランカ、バングラデシュ、フィリピン、中国、ブラジル、ペルーなど。仕事で来日した男性、日本人と結婚した外国人女性など30代を中心に、日本語の習得に初歩から取り組んでいる。10代の少年少女もいる。

日本にいて日本語を喋れないと、仕事や日常生活、人間関係に支障をきたすから、みんな一生懸命だ。テキストは『みんなの日本語』I、II。学習者はそれぞれのレベルに応じて6～7グループに分けられる。

「やりがいがありますね。ゼロからスタートした人たちが、自分の名前や国、誕生日などを言えたり、書けたりしたとき、よかったです」

「教科書以外のことで、日本語で自分の気持ちを表現してくれたとき、我がことのようにうれしかった」

「教わったことを次々と吸収していくとき、私たちへの感謝の気持ちが伝わってきます。そういう顔を見ると、言葉にできない感動がある」

KIFA日本語ボランティアの人たちは、そのやりが



日本語習得に取り組む外国人学習者

いと成果について、以上のように語ってくれた。

◎「教室見学に来てください」

ボランティアとは「自ら進んで事業に参加する人」(広辞苑)の意味がある。KIFA日本語講座の日本語ボランティアの人たちは、「以前に外国生活をしたとき、その国のボランティアに助けもらった。今度はお返しをしたい」「私が自分でできることで、国際交流のお役に立ちたい」などの動機で参加している人が多い。

メンバーは現在15名いるが、ローテーションを組んで毎火曜日の講座の運営にあたっている。

「ボランティアを志望する人は、教室見学ができるので、あらかじめKIFA事務局に連絡のうえ、教室においでください」(遠藤尚子代表)

今年は「日本語ボランティア講師養成講座I」(4月9日から毎週土曜日12回)も開催された。34名の受講者は松本明子先生の熱心な指導を受けた。受講者には、KIFA日本語講座のボランティアへの参加を期待したい。

そもそも「外国人に日本語を教えるボランティア」とは何なのか? 日本語ボランティアでは、外国人対象の「日本語講座」と、主に日本人対象の「ボランティア講師養成講座」を開講しつつ、現在、その「要綱」づくりも急いでいる。

〔日本語ボランティア〕

遠藤尚子(代表)。青木佳子、安達政美、石川優子、内田由見子、大森佳子、小栗淑子、坂上久仁子、中橋尚子、藤本克代、藤本貞子、前野文康、松岡昭男、宮崎京子、村田源吉。

悠久の大河メコン タイ・バンコク

齊藤カルナさん (東初富在住)

「サワディーカ」

「サワディーカ」はタイ人女性の挨拶言葉です。男性なら、「サワディー・クラブ」。「おはようございます、こんにちは、こんばんは」という意味です。「さようなら」の意味もあります。そうです。別れる時にでも、「サワディーカ」と言います。今度私と会ったら、「サワディーカ」と挨拶しましょうね。楽しみです。

日本にいる外国人の私

私が日本に来て、13年が経ちました。独身時代、出張の形で日本に来ましたが、結婚して住んでいると、いろいろ日本の心が見えました。

出張した時の私は仕事場、ある意味、会社の勤めていた人たちと接触しました。ほとんど男性です。結婚して、主婦の立場でいろんな日本人と出会いました。自治会の役員やら、学校の役員など。とにかく子供が学校に行くようになってから、「母」「奥さん」と言う立場で「日本の社会」にデビューしました。

知らない国、慣れてない言葉と環境、私は頑張っています。他の外国人がどうやっているのだろうと考えるのは毎日のようです。もちろん、タイではないことをいっぱい発見しました。なるべく「タイの方がいい」「日本の方がいい」とかの考え方は持たないことを心の中に決めました。

人間は無意識に比べるのですが、私は両国のいい所をピックアップして自分に合う方法を選んでいきます。

両国を知っている私は恵まれたと思っています。

タイはどこ？

W杯サッカーで日本と北朝鮮の無観客試合が行われた所です。タイは大陸にあるため、いろんな国と国境があります。北にミャンマー、ラオスとの国境。北にあるチェンマイは日本から直行便があるくらい人気の観光地です。西にミャンマーとの国境。東にラオスとカンボジアとの国境。南はほとんど海に囲まれています。マレーシアとの国境です。アンダマン海側にはプーケット島があります。南地方は大切な場所です。なぜかと言うところはインド洋と太平洋を分ける場所だからです。

タイ元首 (国王)

ラマ9世国王 (プミボン・アドゥンヤデート)

1946年6月10日に即位。

憲法に、国王は神聖不可侵の元首(刑法では不敬罪が定められている)であり、国軍を統帥する立場にあるほか、仏教の擁護者である旨が規定されています。

詳しく知りたい方は、以下のホームページを参考にしてください。

<http://www.sgc-thailand.com/chishiki.htm>

สวัสดีค่ะ



エメラルド寺院 (バンコク)

タイのことをもっと知りたい方は、次のホームページも見てください。タイ大使館のアドレスです。

<http://www.thaiembassy.jp/index/j-index/j-index.htm>

私のふるさとタイ

- 首都：バンコク
- 人口：630万人(2004年)
- 面積：51.3万km²
- 母国語：タイ語。(日本の約1.4倍)
- 日本からの距離：4,500km(飛行機で6時間)
- 宗教：仏教(国民の9割以上)、他にイスラム教・キリスト教・ヒンズー教・シーク教

タイの文字

ก ข ค ด ฉ ง จ ฉ ช ช ฌ ญ ฎ ฏ ฐ
ท ฒ ณ ด ด ญ
ท ธ น บ ป ผ ฝ พ ฟ ภ ม ย ร ล ว
ส ษ ศ ห พ ฬ อ ฎ



タイの仏像

以上はタイ文字です。

まだまだ「母音」がいっぱいありますが、この場で紹介し切れないので、文字だけにします。

本当は44文字ありますが、最近使わない文字が1個あります。パソコンには載ってないため、打つことができません。

オーストラリア・南の島

タスマニアの自然たっぷり「夫婦旅」

私たち夫婦は昨年12月1日から23日まで、オーストラリアのメルボルン周辺1週間とタスマニア島2週間、合わせて3週間かけてレンタカーで観光した。

メルボルンまで10時間半余り、空港でニッサンのパルサーをレンタルした。そこで、予約したコンドミニウムに行く道順を聞くと早速、パソコンで地図と道順をプリントアウトしてくれた。コンドミニウムのある辺りに到着したが、探し当てるのに1時間近くもかかってしまった。そのコンドミニウムは、歩道にまでテーブルを並べた2軒のレストランの間の、路地を入った突き当たりに建っているうえ、案内看板など一切ないので、車からは見つけにくいものだった。

生態系を守るタスマニア 大部分は世界遺産に登録

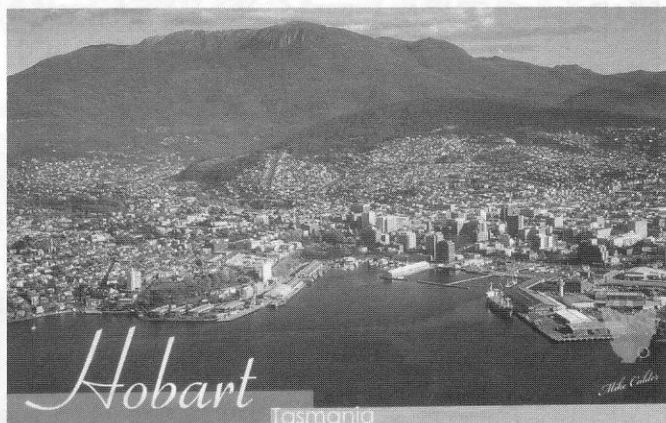
メルボルン周辺で1週間観光した後、私たちは12月9日午前10時30分、タスマニア島のホバート空港へ向けて飛び立った。1時間10分のフライトは天候に恵まれ、空から見たタスマニアの大地は赤と黒のモザイク模様のようなだった。

ホバート空港に降り立って、空港のターミナルビルの出口へ向かう途中、赤い紐付きの小型ヴィーグル犬にとうせんぼうされた。何かといぶかると、犬の紐を持つ警備員に「食料を持っているか」と聞かれた。メルボルンのコンドミニウムから持ってきた残りの野菜・果物の生鮮食料品を差し出すと、こういうものは持ち込み禁止とのことで取り上げられてしまった。同じ国内の島だというのに、農産物にずいぶん厳しいものだと、怒りよりも感心した。

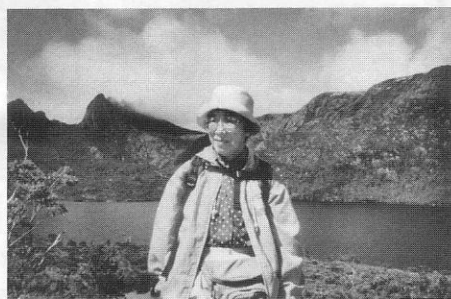
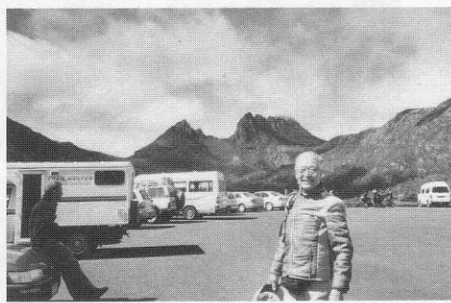
タスマニア全土は、オーストラリア本土では少なくなった豊かな多雨林の森に覆われている。その大部分は世界遺産にも登録されており、タスマニアン・デヴィルを初めとする野生動物が数多く生息している。このため島外からの植物および動物の持ち込みによって、島の本来の生態系が変えられるのを防ぐため、生鮮食料品の持ち込みが禁止となっているのだろうと推測される。

何はともあれこの旅行の目的は、クレイドル山セントクレア湖国立公園内のバンガローに逗留して、ブッシュ・ウォーキングを堪能することだ。

太古からの手付かずの大自然、山、湖、森、草原、そこに生きるタスマニアン・デヴィル、ポッサム、ウォンバット、ふくろねこ、さまざまなカンガルーのなかま、



タスマニア島のホバート市。後ろの山はマウント・ウエリントン。私たちは主にダヴ湖の周辺を散策した(写真左)。



わらいかわせみなど。多種多様のユウカリ、グラスツリー、木生シダなど。日本では見ることの出来ない動物や植物ばかりである。

クレイドル山麓の国立公園 でバンガロー生活を楽しむ

私たちはクレイドル山麓のダヴ湖の周辺を主に散策した。晴天の日はTシャツ1枚でも汗をかくほど暑いのが、翌日はアラレ混じりの嵐に見舞われ、とても寒くて一歩も外に出られない有様であった。

タスマニアは南緯42度、ほぼ札幌と同じ緯度に位置している。しかもダヴ湖の標高は約1,000メートルで、季節は北半球の6月に当たる。寒いのは当たり前だ。

私たちのバンガローはベッドルーム2部屋にキッチン、居間、バスルームがついている20坪くらいの建物、広い敷地に建っていて、そこでくつろいで

いると、ワラルーかワラビーかと思われるカンガルーの仲間が窓外をゆっくり横切っていく姿が時折見られる。

この旅行で日本から予約したのは、航空券とメルボルンとホバートのコンドミニウム、それにレンタカーで、そのほかの宿泊はホバートのタスマニアン・ビジター・インフォメーションセンターで手配してもらった。オーストラリアのビジター・インフォメーションセンターは観光旅行の相談のみならず、公共交通機関と宿泊の予約および入金まで、つまり旅行代理店の業務まで無料でやってくれるので、大変助かる。

森瀬眞男(東鎌ヶ谷在住)

We did it



お花見バーベキュー

若者グループが参加

4月3日の日曜日、KIFA主催のお花見バーベキュー・パーティが、鎌ヶ谷市貝柄山公園広場で行われた。前日の天気予報では完全に雨であったが、見事にはずれ当日は朝から青空が広がり、気温も暖かい絶好の花見日和になった。

しかし2日前に開花宣言が出されたものの、公園の桜はチラホラ、ほとんどが1、2分咲きだった。昨年は土砂降りの天気だった。天候と満開のタイミングを見極めるのは難しい。9時から準備をはじめ11時には、木炭に着火しバーベキューが始まった。初めは少なかった参加人数も正午ごろには、外国人の参加者も徐々に増え、50数人を超



参加者たちはバーベキューを楽しみ (左)、グランドゴルフに挑戦した (右)



す参加となった。

各自持ち込みの肉、野菜、魚を鉄板で焼く。それに加えおでんや飲み物も用意され「花よりバーベキュー」で談笑の輪が広がった。今年初めて参加した若者グループも、持参の食材で腕を振るいながら、外国人との歓談で盛り上がっている。

よく食べよく話しかたわらで民謡踊りの輪も。今年がゲームとして「グランドゴルフ」でバターに挑戦、打数を競った。成績上位者には賞品も配られた。満開の桜の下でというわけにいなかったが、参加者は交流のひとつを堪能した。



青少年ロングステイ派遣 9人を姉妹都市ワカタネに

夏休みにビッグな海外体験。一般家庭に1カ月滞在、学校に通い生活体験をするKIFA主催の「青少年ロングステイ」に、今年は9人の若者が参加します。

7月28日(木): 空港集合・出発

ワカタネの市民家庭でホームステイ

8月23日(火): 帰国

8月30日(火): 報告会

新会員へのガイダンス開催

鎌ヶ谷市国際交流協会(KIFA)では新しく会員になられた方々に、当協会について詳しく知っていただくガイダンスを行います。活動内容をもっと知りたい、あるいは、こんな活動をしてみたいなど、新会員の皆さまの参加をお待ちしています。

なお今回、新会員になれなかった方でも、KIFAについて関心のある方は、是非ご参加下さい。

日時: 7月16日(土) 午前11時~12時

会場: まなびいプラザ 2階 会議室1

問い合わせ先: 鎌ヶ谷市国際交流協会事務局

電話: 047-445-1141(内線550)

fax: 047-441-9400

合同部会に参加しよう!!

来る7月30日(土)午後2時から第3合同部会を開きます。場所は中央公民館学習室1です。KIFAの現在、未来について各位の積極的な意見交換を期待します。部会員の皆さんのご参加をお願いします。

KIFA事務局が3階に移転

KIFAの所管が4月1日から、市の社会教育課から市長公室・企画政策課に移った。同時にKIFA事務局長には新たに海老原正博・市長公室次長兼企画政策課長が就任した。これに伴い事務局も5階から3階に移った。事務局にご用の方はお間違いなく3階にどうぞ。

編・集・後・記

最近公開された『Shall we dance』など、日本映画を外国でリメイクされることが多い。

以前、黒澤明監督の手によって『七人の侍』が誕生した。後にアメリカで『荒野の七人』としてハリウッドでリメイクされヒットした。これは日本映画の実力を海外に認めさせたもので、当時のヴェネチア映画祭銀獅子賞を受賞した。現在まで、日本映画のベスト100では、2位を大きく引き離し常に1位を維持している。

黒澤監督はこの『七人の侍』で7人の役どころを見事に描いている。志村喬の侍大将、剣豪の宮口清二など、今で言えばカッコウいいと言われるだろうが、私はむしろ、地味な役を演じた稲葉義男や千秋実のほうが印象に残っている。

さて、われわれ広報委員も昨年からの3人に加え、今年から新たに4人の加入があり、奇しくも7人。7人の個性を活かした役どころを果たしていきたい。

(T・T)

◎広報委員会スタッフ◎

委員長/林幸治。副委員長/高坂忠雄。ホームページ担当/渡辺千里。委員/森瀬眞男、竹内雄二、斉藤カルナ、鈴木貞夫。